持続可能な開発のための教育プログラム
国連大学サステイナビリティ高等研究所

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
Institute for the Advanced Study of Sustainability

プログラムについて

国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）は、持続可能な開発に関する様々な課題に対し政策提言にむけた有益かつ革新的な解決策を提案することにより、国際社会に貢献しています。持続可能な開発のための教育（ESD: Education for Sustainable Development）プログラムは、国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD：2005～2014年）が国連総会で決議されたのを受けて、日本の環境省の支援の下、2003年に設立されました。

このESDプログラムは、多様なステークホルダーからなるネットワークの展開と高等教育機関の提携、リーダーシップ育成と能力開発の強化、そして、政策に関する研究を通じて、持続可能な開発とESDをめぐる国際的なプロセスに寄与することを主眼としています。2014年のDESD終了後、当プログラムは、ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP: Global Action Programme on ESD）を実施することによってESDのさらなる導入と加速と主流化を進め、これらの活動を通じて持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）の達成に貢献しています。

目的と目標

ESDプログラムは、地理的境界、知識やセクターの垣根を越えてESD促進のためのパートナーシップを促進する研究と活動を通じて、教育・学習と開発の間の隔たりを埋めることを目指しています。また、関係機関と連携し、ポスト2015年開発および教育アジェンダへの具体的な貢献も目的としています。この目的を実現するため、以下の目標を設定し、活動を展開しています。

- **持続可能な開発の課題に対する地域における解決策の加速**
- **持続可能な社会の構築に向けた、高等教育の変革**
- **持続可能な開発とESDに関するコンピテンシーとケーパビリティーの育成、および科学と政策のつながり（インターフェイス）の強化を図る**

これらの目標は、持続可能な開発の主要領域に取り組む戦略的パートナーシップを構築し、活動を展開していく上で中核となるものです。

ESDプログラムの戦略的枠組み

ポスト2015年開発アジェンダと持続可能な開発目標（SDGs）

目的と目標：
以下に挙げる項目を通じて教育・学習と開発の間の隔たりを埋め、SDGsに貢献すること。
- 持続可能な開発の課題に対する地域における解決策の加速
- 高等教育機関の変革
- 持続可能な開発とESDに関するコンピテンシーとケーパビリティーの育成と、科学と政策のつながりの強化

戦略：
- ESDに関する地域拠点（RCE）とアジア太平洋環境大学院ネットワーク（ProSPER.Net）の発展と強化
- 政策立案者のリーダーシップ養成と能力開発の強化
- 政策に関する研究と能力開発を通じた、持続可能な開発とESDをめぐる国際的議論とプロセスの主導

戦略的パートナーシップ
- マルチステークホルダーネットワーク
- 持続可能性をめぐる国際的プラットフォーム
- 高等教育機関の連携

ESDプログラムの優先重点分野：
- ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）
- 持続可能な消費と生産
- 生物多様性と生態系サービス
- 気候変動と災害リスクの軽減
- 高等教育に関するイニシアティブ

UNU-IASのテーマ別活動エリア：
- 持続可能な社会
- 自然資本と生物多様性
- 地球環境の変化とレジリエンス

戦略的パートナーシップ

マルチステークホルダーネットワークの促進

ESDプログラムはESDに関する地域拠点（**RCE: Regional Centres of Expertise on ESD**）を中心に、マルチステークホルダーネットワークの構築、発展を支援しています。RCEは、持続可能な未来を築くための教育と学習を促進する様々な機関と個人からなる地域ネットワークです。2015年12月現在、世界で146の地域が、国連大学によりRCEとして認定されています。DESDを通して、RCEは以下のような実績を挙げてきました。

- 多様な研究分野におけるテーマ別ネットワークの構築、強化
- 地域や国、ならびに国際的なレベルの主要パートナーである政策立案者への働きかけ
- 共同プロジェクト、能力開発、モニタリング・評価の実施
- RCEアワードを通じた優れたESD活動の顕彰
- ESD学習事例（ラーニングケース）とRCEポータルサイトの開発

RCEは、グローバルな政策を地域のニーズや現状に合わせて実施することができます。また、活動、教育、研究において革新的な方法を生み出すことにより、GAPの優先行動分野とESDプログラムの優先重点分野に貢献する原動力となっています。

持続可能な開発のための高等教育機関の連携

ESDプログラムは、世界中の高等教育機関と連携・協力しながら、持続可能な開発とESDの国際的なプロセスに沿って科学・社会・政策のインターフェースを強化する革新的な研究、学習法、教授法を展開しています。この連携を担うのは、アジア太平洋地域の高等教育機関のネットワークであるアジア太平洋環境大学院ネットワーク（**ProSPER.Net: Promotion of Sustainability in Postgraduate Education and Research Network**）です。ProSPER.Netの目的は、共同研究と能力開発を通じて、ESDカリキュラムを開発し、持続可能な社会づくりを担う人材を養成し、持続可能な開発の幅広い課題に対処することにあります。2015年6月現在、34機関が加盟しており、GAPの優先行動分野に貢献すること、ESDに関する知識の普及、革新的な研究の促進、高等教育政策への働きかけを通じて研修・学習環境を変革することに力を注いでいます。

国際的なプラットフォームやプロセスへの働きかけ

RCEとProSPER.Netは、地域レベルのESD活動を国際的なプラットフォームやプロセスと連動させるために二人三脚で取り組む一方で、その他のグローバルなネットワークとも連携しています。中でもESDプログラムは、持続可能な消費と生産、生物多様性と生態系サービス、気候変動と災害リスクの軽減、高等教育に関するイニシアティブなどの領域において重点的に活動を展開しています。多様なステークホルダーを巻き込んだESD活動は、以下に挙げるようなさまざまな国際的プラットフォームとの整合性を図りながら進められています。

- グローバル・アクション・プログラム（GAP）
- 持続可能な消費と生産に関する10年枠組み（10YFP on SCP）
- 生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）と生物多様性条約（CBD）
- 気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC）第6条（教育・訓練・普及啓発）
- 仙台防災枠組2015-2030
- 高等教育に関するイニシアティブ（高等教育サステイナビリティ・イニシアティブ（HESI）、フューチャー・アース、リオ+20高等教育における人々によるサステイナビリティ協定など）

RCE西シドニー広域圏（オーストラリア）

RCEカカメガ（ケニア）

RCE岡山（日本）

REGIONAL CENTRE OF EXPERTISE ON EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT
ACKNOWLEDGED BY
UNITED NATIONS UNIVERSITY

国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）
持続可能な開発のための教育（ESD）プログラム
ウェブサイト：http://ias.unu.edu/jp/
RCEポータル：http://www.rce-network.org/portal/
ProSPER.Netウェブサイト：http://prospernet.ias.unu.edu/
E-mail：rceservicecentre@unu.edu / prospernet@unu.edu

ProSPER.Net